

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 11 日 (2020.6.11)

【公表番号】特表 2019-518724 (P2019-518724A)

【公表日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【年通号数】公開・登録公報 2019-026

【出願番号】特願 2018-555889 (P2018-555889)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 38/16 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/14

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 38/16

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/15 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 21 日 (2020.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

I L 4 I 1 活性を低減または阻害する 1 以上のアンタゴニストを少なくとも 1 つの医薬担体、希釈剤または賦形剤とともに含んでなる、呼吸器疾患または呼吸器感染の治療または予防するための医薬組成物。

【請求項 2】

治療上有効な量の、IL4I1 活性を低減または阻害する 1 以上のアンタゴニストを含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

IL4I1 がヒト IL4I1 である、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

呼吸器疾患が慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、COPD 増悪、喘息、気管支炎、気腫、嚢胞性線維症、急性呼吸窮迫症候群および気管支拡張症のうち 1 以上である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

COPD 増悪が呼吸器感染に起因する、請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

呼吸器感染が細菌感染である、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

細菌感染がモラクセラ・カタラーリス、インフルエンザ菌、肺炎連鎖球菌、および/または、結核菌などのマイコバクテリアのうち 1 以上による感染である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

呼吸器感染がウイルス感染である、請求項 1 または 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

ウイルス感染が HRV または RSV による感染である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

呼吸器感染が二次的細菌感染である、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

IL4I1 活性が 1 以上の IL4I1 タンパク質のアンタゴニストにより阻害される、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

1 以上の IL4I1 タンパク質のアンタゴニストが、1 以上の IL4I1 タンパク質に特異的である、抗体、抗体フラグメント、抗体コンジュゲート、アプタマー、小分子、治療タンパク質、ドメイン抗体または dAb (商標)、またはそれらの組合せを含んでなる、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

哺乳動物がヒトである、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

呼吸器疾患を治療または予防するための 1 以上の付加的治療アンタゴニストをさらに含んでなる、請求項 1 ~ 13 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

呼吸器疾患を治療または予防するための IL4I1 活性のアンタゴニストのスクリーニング方法であって、そのアンタゴニストが IL4I1 経路を阻害するかどうかを決定する工程を含んでなる、方法。